

ImageXpress Pico 自動細胞イメージングシステム

高品質な画像取得・解析をもっと手軽に、もっと身近に行えるコンパクトなシステム

主な特徴

- 最適化されたプリセットモジュールにより、画像取得・解析ワークフローの時間短縮と効率化を実現
- 解析後の画像から数クリックするだけで、ヒートマップや散布図、棒グラフを簡単に生成
- アイコンベースのユーザーフレンドリーなソフトウェアにより、最小限のトレーニングで画像取得・解析が可能
- 環境制御モジュールを使用して最適条件を維持しながら生細胞実験を実施
- Zスタック画像取得を用いて、より正確なセグメンテーションに適した鮮明な画像を生成

細胞画像の取得と解析を自動化

単調な手動の顕微鏡操作に代わり、ImageXpress® Pico 自動細胞イメージングシステムはワークフローの自動化を実現。サンプルをシステムにセットし、アイコン化されたシンプルなワークフローに従うだけで、高品質な画像の取得と解析を行えます。システムソフトウェアは、単純な細胞計数から神経突起伸長といった高度な画像解析まで、25種類以上のプリセットされた解析プロトコルを備えています。パラメーターの最適化作業は不要で、迅速な解析をサポートします。解析結果はヒートマップ、散布図、表、棒グラフ、動画など、様々な形式で視覚化できます。



サンプルの挿入

自動的な画像取得
および解析



マスクオフ マスクオン
細胞や解析対象を分割



サムネイル画像
の確認



散布図

あらゆる研究室に対応するシステム設計

ImageXpress Picoシステムは、卓上サイズの密閉型自動プラットフォームで、どのような研究室にも簡単に導入していただけます。ブラウザベースのCellReporterXpress™ソフトウェアにより、システムへのアクセスや操作は研究室から離れたどの場所からでも行えます。

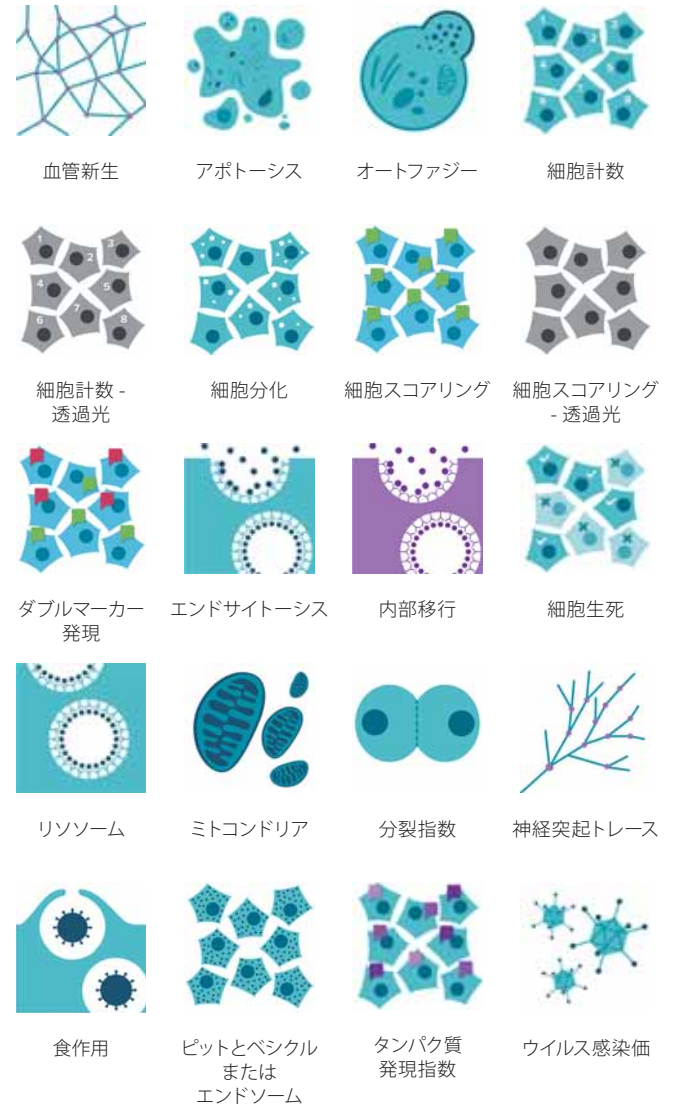


標準仕様	
操作モード	明視野、カラー、蛍光
光源	High-power LED、透過光用LED
対物レンズ	ユーザーが交換可能な対物レンズ搭載の6ポジション自動ターレット Leica Microsystems社製の光学系: FLUOTAR 4×/NA 0.13、10×/NA 0.32、 20×/NA 0.40、40×/NA 0.60、63×/NA 0.70 *高倍率レンズは40×もしくは63×のいずれかのみ選択可能
チャンネル	Cy5、Texas Red、TRITC、FITC、DAPI、CFP、透過像、RGB
イメージング方式	シングルカラー、マルチカラー、タイムラプス、Zスタック撮影
オートフォーカス	ハードウェアまたはハードウェアとイメージベースの併用
対応実験器具	6~384ウェルプレート、スライドガラス
付属PC	Windows 10 (英語OS)
ソフトウェア	CellReporterXpress v2
寸法	55.1 (幅) × 43.5 (奥行) × 45.3 (高) cm
重量	38 kg (オプションを含む)
温度制御	室温 +8°C~40°Cの範囲で設定可能
温度制御均一性	23°C環境下において37°C±0.5°C
ガス制御	<ul style="list-style-type: none"> CO₂: 環境濃度~15% O₂: 1~15%
湿度制御	サンプルチャンバー内部を基準値85%湿度に能動的湿度制御

幅広いアッセイに対応する種々のオプション

ソフトウェアで選択可能な一連の対物レンズとフィルター、透過光とカラー画像取得、環境制御モジュールなど、ImageXpress Picoシステムは、ユーザーのニーズに合わせて様々なアッセイに対応可能な柔軟性を備えています。たった数回のクリックによる簡単操作で解析データを論文発表やレポート用のデータに変換できるこのシステムは、あらゆる研究をサポートするスマートな一台です。

プリセット解析プロトコルの一例:



Contact Us

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

Phone: 0120-993-656

Web: www.moleculardevices.co.jp
moleculardevices.co.jp/qr/pico-Flyer

Email: info.japan@moldev.com



製品ページはこちら

ImageXpress PicoシステムはLeica Microsystems社製の光学系を備えています。